

夢をかたちに・今ここから！！

「行財政改革」待ったなし！

ここに第4号の星野みつひろニュースレターをお届け致します。

8月の「郵政解散・総選挙」では叔父である衆議院議員中野きよし（自由民主党）の富士見選対の事務局をあくまで、小選挙区必勝を目指して頑張った毎日でした。お陰様で122,274票の大得票をいただき4期目の当選を果たすことができました。支援者ならびに地域の皆さまのおかげと感謝いたしております。

今回の総選挙で小泉首相の一徹な姿勢と国民の改革への期待が自民大勝を後押ししたものと強く感じています。私も国民の一人として国の改革が遅々として進まない現状に閉塞感を覚えていました。小泉首相のリーダーシップで、改革のスピードが上ることを期待して止みません。事実、郵政民営化法案を可決し、三位一体の改革、政府系金融機関の統廃合と実が上がってきました。

一方、富士見市にとっても改革のスピードを上げなければならない局面となり、市政運営はまさに財政難を乗り越えて行かなければなりません。平成18年度の予算編成方針を本年同様に各部枠配分制を継続し、歳出の縮減を最優先にした大変困難な予算編成となるでしょう。

これまで、予算編成に当たって事業・政策の提案を会派として行ってきましたが、本年は市執行部に対して改革の成果が上がるよう強く要望を致しました。要望については別項目でご紹介致します。

「行財政改革」待ったなし！知恵と汗をだして乗り越えましょう。

平成18年度予算要望書提出！

11月1日に21・未来クラブ（星野みつひろ 関野兼太郎 吉野欽三 星野信吾の4議員で構成）では、平成18年富士見市予算編成にあたり浦野清市長へ要望書を提出致しました。当市の財政状況はこれまでも、これからも厳しい状況が続きます。その中で、従来のように「これをして欲しい！」「あれはできないのか？」とおねだりをするような予算要望はできないとの考えから、下記のような内容で提出致しました。

○21・未来クラブ提出要望書（市長へ提出） 「平成18年度予算編成にあたり」

本市においては現在約468億円の負債を抱え、国からの地方交付税も年々減額されております。また、財政調整基金の残高も底をつき、市民サービスの維持も難しくなりつつあり、財政計画を根本的に見直す必要性があります。

今後本市のまちづくりを推進していく上で、自主財源の確保と歳出の抑制は最重要課題であります。特に、市税と国保税の徴収率向上をはじめ、受益者負担の原則に基づき負担金等の見直しや民間委託の推進、指定管理者制度の積極的導入などを確実に実施することを要望致します。さらに、現在の本市の財政状況を広く市民へ情報開示することが必要であると考えます。このことにより行政、市民一体となった協働のまちづくりが推進されると確信するものです。

最後に、この難局を乗り越えるには市長はじめ市執行部のリーダーシップは不可欠であり、なお一層の努力をお願いするものです。

以上、21・未来クラブの基本的な考えとし、下記の施策展開を図っていただきたく要望致します。（裏面へ続く）

ホームページもご覧ください
www.hoshino-corp.com/3hiro/

星野みつひろ公式ホームページ。
「MITSUHIRO TV」は動画で楽しくご覧いただけます。



富士見市議会議員
星野みつひろ

MITSUHIRO HOSHINO OFFICIAL WEB SITE
© Copyright 2005 Mitsuhiko Hoshino. All Rights reserved.



“変わり、改め、創りたす…時！”
ふるさと富士見のため…夢をかたちに今、ここから。

〒354-0021

富士見市鶴馬2612-7

星野みつひろ事務所

TEL：049（254）6332

FAX：049（252）4651

Email：3hiro@hoshino-corp.com



ご意見、ご要望お待ちしております。

夢をかたちに・今ここから！！

[市長及び執行部のリーダーシップ]

- ・市職員の危機意識の醸成
- ・経営感覚を取入れた市政運営を

[市行財政改革の一層の推進]

- ・経常経費の縮減
- ・各事業の評価と見直し
- ・指定管理者制度、事業委託の検討、実施
- ・PFI導入の積極的検討、実施
- ・財源確保のための政策実施
- ・収納率の向上

[情報公開の一層の推進]

- ・財政状態を市民へ広く知らしめること。
- ・市民説明会の開催

9月定例議会について

平成17年9月定例議会は総選挙の中9月6日から9月28日までの23日間行われ、議案29件、報告4件、諮問1件が市執行部から提出され、原案どおり可決、認定、同意されました。

9月議会の主な議案は平成17年度一般会計補正予算や平成16年度の一般会計、国保会計、老人保健会計、介護保険会計、鶴瀬駅西口区画整理会計などの決算8議案を延べ4日間にわたり本会議で審議致しました。

○議案第57号 平成17年度富士見市一般会計補正予算(第3号) について

*既定の予算に11億5,748万円を追加したものです。主な内容は第2運動公園を土地開発公社から買い戻す為の費用、約10億9千万円。待機児童解消の為のふじみ野放課後児童クラブ増築費用約2千万円。コミュニティー事業として水谷東地域の自主防災組織への助成費用及び水防センター増設の為の費用約1,700万円など補正を行いました。

○議案第60号 平成16年富士見市一般会計歳入歳出決算認定について

*財政状況を示す指標である経常収支比率が90%を超え、財政の硬直化がさらに進みました。交付税、補助金などの依存財源についても縮減され、財政調整基金を13億7千万円も繰り入れなければならない結果となりました。一方で不要額が10億円を超えるという数字もあります。今後、さらに自主財源の確保、税の徴収率向上など自助努力を怠ることなく、市民生活向上に向けて一層の努力に期待しております。また、財政状況については広

く市民へ理解を求める努力が必要と考えています。協働のまちづくりを標榜する富士見市であれば、勇気を持って率直に説明責任を果たすべきです。

○議案第64号 平成16年度富士見市都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について

*事業全体の進捗率は平均64.6%。主な項目では建物移転64%(25棟分)、道路築道55.6%(363m)、使用収益開始56.1%となりました。歳入の収入済額は8億7,110万円で予算減額に対して99%。歳出については執行率95.6%で8億4,080万円。本年17年度の予算では7億2,564万円で17%予算が減額されました。平成18年度にはさらに予算減額予想されます。しっかりと事業完成に向けて予算を担保するよう今後も努力して参ります。

最後に、決算認定の審議について私の意見を書こうと思います。

決算認定の議案は9月に毎年提出されます。日程は決算だけに4日間の日程を取って質疑等を行います。1日目一般会計決算書及び事項別明細書の歳入全般と歳出のうち議会費、総務費の質疑。2日目民生費、衛生費の質疑。3日目労働費～予備費の質疑、討論・採決。4日目事業会計、特別会計の質疑、討論・採決。という内容で進みます。そして、この一連の質疑は本会議で行いますが、私は率直な意見として決算質疑を本会議で行うには、時間が足りないと考えています。方法論として、予算審議の様子に各常任委員会で所管ごとに行うか、決算特別委員会を設けて審議を行う方法もあります。決算質疑の議論が次年度予算へ反映されるためにも、改革すべきです。本年3月の選挙で26議席を21議席にしました。議会費の縮減には貢献しましたが、一方の見方として5議席減をしたことで10の目が失われました。21人の議員が今後確かな審議を行うためにも委員会へ移し、執行部と緊張感のある審議をすべきだと考えています。幸い議会改革ということで、議会運営委員会で「一問一答方式」などの調査が始まりました。私は併せて決算審議のあり方を議論したいと思っています。

=編集後記=

平成13年の初議会から本年の6月議会まで17回連続で一般質問を行ってきましたが、小泉首相の決断でついに連続記録も途切れてしまいました。もちろん、12月議会を行います。